

令和2年度 武蔵野市立千川小学校 理解教育について

本校では、理解教育授業を通じて、「自他の違いを認め合い、支え合う児童」「自己理解、他者理解、障害理解を深め、共生社会の実現を目指す児童」の育成に努めています。

【第4学年の理解教育授業について】

(1) 授業の内容

テーマ：「得意なこと・不得意なことってなんだろう？」

ねらい：得意なこと、不得意なことは一人一人違う、それが「個性」であることを知る。

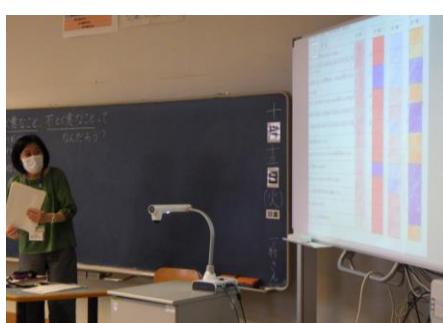
(2) 授業を振り返って

児童の感想

- ・全員に苦手なことがあり、それぞれ長所・短所が違うことがよく分かった。
- ・一人一人に違いがあることが分かり、みんな違うからいいんだなと思った。
- ・これから得意なことを増やしていきたいと思った。
- ・学習を通して、人によって得意なことと不得意なことがあるのがよく分かったので、他の人の不得意なところを責めてはいけないと思った。
- ・周りの人と少しぐらい違いっていても、自分らしく生きることが大切だと感じた。
- ・人それぞれ「個性」が大切だと感じた。



自己理解チェックリストに取り組んでグループで見合いました。



チェックシートを全体で見比べて気付いたことを発表しました。



カウンセラーの神原先生に「個性」について話をしてもらいました。